地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

千葉県いすみ市

自治体の課題、現状

市内では中学生を活動対象とするスポーツクラブがほとんどなく、過疎地域であるため保護者の送迎に頼らざるを得ないのが現状である。令和6年度は「いすみ市地域部活動推進協議会」を組織し、1部活動（ホッケー）をモデル部活動として地域移行した。今後は数少ない受け皿となり得る団体にどのような支援をしていくか明らかにしていかなければならない。また、費用や送迎等の保護者負担、指導者の確保や研修の実施方法等、様々な条件整備も必要である。市として生徒にとって最良な形で地域展開が進められる方策を検討したいと考えている。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	729人
域内の部活動数	23部	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	11人	全体の運営スタッフ数	2人
主な運営団体	いすみ市教育委員会		
主な種目	ホッケー、サッカー		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：9人/クラブ 2年：8人/クラブ 1年：11人/クラブ
参加会費	0円/月	主な活動場所	いすみ市運動公園 大原高校グラウンド

取組の概要や成果

令和7年度には、モデル部活動の地域移行を参考にしながら、市内3中学校においてそれぞれ1部活動の地域展開を進めていくことを目標として取組んだ。その結果、3部活動の地域展開を進めることができ、8月から1クラブ（サッカー）の活動を開始することができた。残りの2部活動については、現在も指導者や団体と調整中であり、地域展開へと進めているところである。また、市内のスポーツ団体の組織体制や活動状況を調査し、それをもとにカテゴリー分けすることで、今後どのようなかかわり方で地域展開につなげられるか見通しをもつことができた。

運営体制図

